



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 三城ホールディングス
 コード番号 7455 URL http://www.paris-miki.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多根 裕詞
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 ファイナンス担当 (氏名) 中塚 哲郎 TEL 03-5781-6032
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|-------|------|-------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年3月期第1四半期 | 12,669 | △8.3 | 96 | △84.7 | 25 | △96.3 | △99 | — |
| 28年3月期第1四半期 | 13,822 | △0.4 | 630 | 35.5 | 686 | 29.1 | 323 | 41.9 |

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △267百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 363百万円 (75.2%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期第1四半期 | △1.93 | — |
| 28年3月期第1四半期 | 6.28 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 29年3月期第1四半期 | 50,358 | 37,089 | 73.1 | 714.70 |
| 28年3月期 | 51,067 | 37,811 | 73.5 | 728.77 |

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 36,794百万円 28年3月期 37,519百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期 | — | 9.00 | — | 9.00 | 18.00 |
| 29年3月期 | — | — | — | — | — |
| 29年3月期(予想) | — | 9.00 | — | 9.00 | 18.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|------|------|------|-------|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 53,982 | 0.5 | 489 | 81.6 | 378 | 117.6 | 72 | — | 1.42 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 29年3月期1Q | 56,057,474株 | 28年3月期 | 56,057,474株 |
| ② 期末自己株式数 | 29年3月期1Q | 4,574,329株 | 28年3月期 | 4,574,276株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 29年3月期1Q | 51,483,149株 | 28年3月期1Q | 51,483,687株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、発表日現在で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料2ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| (4) 追加情報 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内の経済状況は、為替や金融市場の動きなどによる経営環境の不透明感が増していることもあり、全体的には緩やかな悪化傾向が続いている状態であったと見られます。

小売業におきましても、個人消費の伸び悩みやインバウンド消費の頭打ち感が出てきたこともあり、足踏み状態であると見られました。

当社グループの国内事業におきましても、客数が伸び悩み、売上高も前年を下回る状況が続いております。

この前期末の傾向から抜け出すためには、目先にとらわれないしっかりとした店舗戦略と信頼を積上げていく必要があると考えており、その計画を実行に移しているところです。

主要子会社であります㈱三城におきましても、不採算店舗の退店による売上高の減少だけでなく、既存店舗も前年を下回っているなか、抜本的な改革を進める計画に基づき、店舗セグメントごとの大幅な改装や品揃えの見直し、それぞれの客層に合わせた社員教育など、積極的な取組みを始めました。

それらの取組みは、施策に基づき改装を行った店舗から徐々に成果が見え始めておりますが、まだ全体を底上げするには時間がかかると見られ、投資が先行することもあって利益に貢献するのはもう少し先になると見込んでおります。

海外子会社におきましては、東南アジア地域は堅調で利益を確保しておりますが、中国、韓国は国内の経済環境や小売マインドの変化などにより厳しい状態が続いており、海外法人合計の営業利益は前年を下回る結果となっております。

また、為替の急激な変動により、営業外における為替差損が216百万円計上されたことで、親会社株主に帰属する四半期純利益も前年を下回る結果となっております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高12,669百万円(前年同期比8.3%減)、営業利益96百万円(前年同期比84.7%減)、経常利益25百万円(前年同期比96.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失99百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益323百万円)となりました。

報告セグメント情報の状況は、次の通りであります。

1) 日本

国内の売上高は10,933百万円(前年同期比8.7%減)、セグメント利益102百万円(前年同期比85.4%減)となりました。

2) 海外

海外の売上高は1,805百万円(前年同期比9.9%減)、セグメント損失6百万円(前年同四半期はセグメント損失0百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債および純資産の状況)

総資産は前連結会計年度末に比べ709百万円減少して50,358百万円となりました。これは主に流動資産における現金及び預金が2,092百万円増加したものの、有価証券が511百万円、長期預金が2,000百万円減少したことによるものです。

負債は前連結会計年度末とほとんど変わらず13,269百万円となりました。

純資産は前連結会計年度末に比べ722百万円減少して37,089百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月13日に公表しました通期業績予想につきまして、修正は行っておりません。

しかし、事業会社の業績推移や新規事業展開の進捗状況、および世界情勢の変化等により、修正が必要と判断した場合には速やかに開示する予定です。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

当社及び一部の国内連結子会社は、税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 15,693 | 17,786 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,966 | 3,052 |
| 有価証券 | 814 | 302 |
| 商品及び製品 | 10,237 | 10,469 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,138 | 1,162 |
| 繰延税金資産 | 509 | 505 |
| その他 | 1,269 | 1,214 |
| 貸倒引当金 | △167 | △140 |
| 流動資産合計 | 32,461 | 34,352 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 2,965 | 2,928 |
| 機械及び装置（純額） | 15 | 38 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 1,285 | 1,260 |
| 土地 | 1,062 | 1,062 |
| 建設仮勘定 | 30 | 23 |
| その他（純額） | 50 | 49 |
| 有形固定資産合計 | 5,410 | 5,362 |
| 無形固定資産 | 1,254 | 1,173 |
| 投資その他の資産 | | |
| 長期預金 | 2,000 | — |
| 敷金及び保証金 | 6,090 | 6,135 |
| 建設協力金 | 115 | 106 |
| その他 | 3,746 | 3,238 |
| 貸倒引当金 | △10 | △10 |
| 投資その他の資産合計 | 11,941 | 9,469 |
| 固定資産合計 | 18,606 | 16,005 |
| 資産合計 | 51,067 | 50,358 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,803 | 1,925 |
| 短期借入金 | 5,751 | 5,771 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | — | 500 |
| 未払金 | 1,980 | 2,026 |
| 未払法人税等 | 201 | 103 |
| 賞与引当金 | 75 | 40 |
| 店舗閉鎖損失引当金 | 104 | 100 |
| その他 | 1,508 | 1,511 |
| 流動負債合計 | 11,425 | 11,980 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,066 | 558 |
| 役員退職慰労引当金 | 72 | 83 |
| 資産除去債務 | 348 | 344 |
| その他 | 343 | 302 |
| 固定負債合計 | 1,830 | 1,288 |
| 負債合計 | 13,256 | 13,269 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,901 | 5,901 |
| 資本剰余金 | 6,829 | 6,829 |
| 利益剰余金 | 32,792 | 32,232 |
| 自己株式 | △8,402 | △8,402 |
| 株主資本合計 | 37,120 | 36,560 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 13 | △179 |
| 為替換算調整勘定 | 384 | 414 |
| その他の包括利益累計額合計 | 398 | 234 |
| 新株予約権 | 35 | 40 |
| 非支配株主持分 | 257 | 253 |
| 純資産合計 | 37,811 | 37,089 |
| 負債純資産合計 | 51,067 | 50,358 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 13,822 | 12,669 |
| 売上原価 | 4,322 | 3,990 |
| 売上総利益 | 9,500 | 8,679 |
| 販売費及び一般管理費 | 8,870 | 8,583 |
| 営業利益 | 630 | 96 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 7 | 5 |
| 受取賃貸料 | 5 | 4 |
| 為替差益 | 35 | — |
| 受取手数料 | 2 | 2 |
| 投資事業組合運用益 | — | 93 |
| 貯蔵品売却益 | 4 | 31 |
| その他 | 36 | 61 |
| 営業外収益合計 | 92 | 199 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 15 | 7 |
| 為替差損 | — | 216 |
| 支払手数料 | 10 | 11 |
| 持分法による投資損失 | — | 26 |
| その他 | 10 | 8 |
| 営業外費用合計 | 35 | 270 |
| 経常利益 | 686 | 25 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 2 | 2 |
| 投資有価証券売却益 | 24 | — |
| 特別利益合計 | 26 | 2 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 11 | 23 |
| 投資有価証券評価損 | 4 | — |
| 関係会社出資金評価損 | — | 2 |
| 店舗解約損失金 | 1 | 0 |
| 店舗閉鎖損失引当金繰入額 | 2 | 12 |
| 特別損失合計 | 20 | 38 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 693 | △10 |
| 法人税等 | 378 | 90 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 314 | △101 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △8 | △1 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 323 | △99 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 314 | △101 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 63 | △193 |
| 為替換算調整勘定 | △13 | 29 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | — | △1 |
| その他の包括利益合計 | 49 | △165 |
| 四半期包括利益 | 363 | △267 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 362 | △263 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 1 | △3 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------|-------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 日本 | 海外 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 11,841 | 1,981 | 13,822 | — | 13,822 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 133 | 22 | 155 | △155 | — |
| 計 | 11,974 | 2,003 | 13,978 | △155 | 13,822 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 704 | △0 | 703 | △73 | 630 |

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△73百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------|-------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 日本 | 海外 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 10,876 | 1,793 | 12,669 | — | 12,669 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 56 | 11 | 68 | △68 | — |
| 計 | 10,933 | 1,805 | 12,738 | △68 | 12,669 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 102 | △6 | 95 | 0 | 96 |

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。